

(家庭数配付)

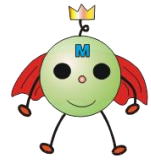


黒崎みなみ

学校教育目標

「なかよく やりぬき たかまる子」

令和6年度
学校だより第4号



令和6年7月23日(火)
新潟市立黒崎南小学校

学級力

校長 林 なおみ

黒崎南小学校では、全校で「学級力」に取り組んでいます。「学級力」は、学級づくりの考え方の一つで、子どもたち自身が自分たちの学級づくりにかかわり、主体性や協働性、自治の心を育みます。「学級力」の特徴は、アンケートで自己評価した結果を、レーダーチャートで形として確かめられることです。子どもたちは、レーダーチャートを基に学級の今の状況を話し合い、改善に向けて行動します。

4年生は、「学級力」に自分たちで決めた8つのめあてを当てはめて取り組み、毎月成果を確かめてきました。4月に達成率49%だった「最後まで話を聞く」は、6月には81%になりました。「時計を見て行動する」が、4～6月で65%、58%、35%と数値を下げているのは、自分たちの生活に課題意識をもつ力が付いたからであると推察します。「助け合う」が一貫して高いことは、4年生の学級の素晴らしいところです。

夏休み直前の7月22日に、4年生が7月の学級力の話し合いをしていました。7月に重点課題として取り組んだ「時計を見て行動する」は、達成率88%に上がっていました。4年生は、「『時計を見て行動する』の達成率が上がった理由は、時計をみる係をつくったこと、タブレットを使って各自が着席をチェックしたこと、みんなで声を掛け合ったことで、自分たちでできるようになったから」と話していました。また、4月から7月までを振り返って、「自分で考えて行動できるようになった。4年生の初めは注意されることが多かったけれど、自分で気付けるようになった。これから5年生になるから、もっとできるようにしたい」と、自分たちの成長と、これからの心構えを確かめていました。

4年1組の8つのめあて	4月	5月	6月
最後まで話を聞く	49%	↑62%	↑81%
私語をしない	49%	↑78%	↑88%
反応する	76%	↓70%	↓50%
声のものをよび気をつける	44%	↑64%	↑88%
時計を見て行動する	65%	↓58%	↓35%
助け合う	94%	↓91%	↑93%
素直にあやまる	62%	↓49%	↑84%
苦手なことにチャレンジ	89%	↓87%	↓83%

【4年生が取り組んだ8つのめあて】

黒崎地域には、明治時代に国会や憲法をつくるための運動に尽力した山際七司（やまぎわしちじ）を始めとして、自分たちで物事や課題を解決していく自治の伝統があります。黒崎南小学校の子どもたちが、自分たちの学級生活を自分たちでよくしていく「学級力」の取組に、地域の誇る自治の伝統が息づいています。

【参考】『黒崎百年 一村をおこし町をつくった人々のものがたり』平成12年 黒崎町

学級力の取組について（徳育部）

「学級力」で育む力

- 子どもたちが常に支え合って目標にチャレンジする力
- 友達と豊かな対話を創造する力
- 規律を守り安心できる環境（集団）をつくる力
- 協調的な関係を作り出そうとする力

「学級力」のねらい

- 子どもが行う学級力アンケートをもとに、子どもたち自身が学級の課題を見付け、規律を守り安心できる、協力的な関係について話し合う。
- 子どもたちが自分の学級作りに責任をもって取り組む。
- 友達を助けることができる学級、主体的に活動することができる学級づくりを目指す。

「学級力」の手順

- ① 学級力アンケート
- ② 自学級の課題を見付ける話合い
- ③ 課題解決の取組の実践
- ④ 取組の振り返り

①～④を1サイクルとして、1か月～1か月半程度で取り組みます。

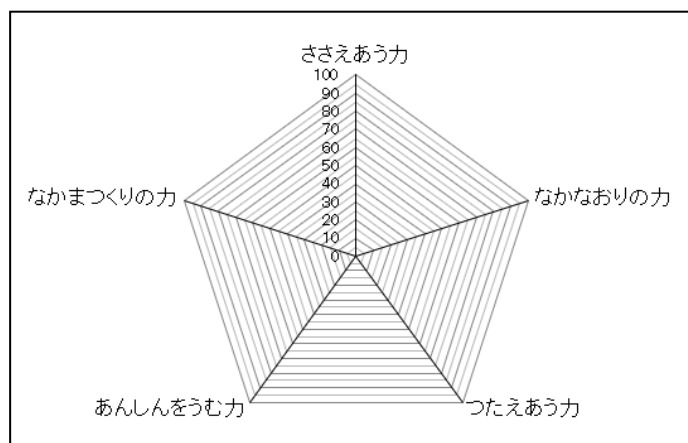
「学級力」のアンケート項目

- ・運動・そうじ・給食などで、教え合いや助け合いをしている学級です。
- ・すなおに「ごめんね」と言っていて、仲直りができる学級です。
- ・友達のよいところやがんばっているところ、「ありがとう」を伝えあっている学級です。
- ・友達の心を傷つけることを言ったり、からかったりしない学級です。
- ・だれとでも遊んだり、グループになったりすることができる学級です。

レーダーチャート

学級力のアンケート結果は、レーダーチャートに反映されます（図）。

前回の結果と比較できるように示されるので、子どもたちは、自分の学級の状況の変化や現状を図でとらえることができます。



図【学級力のレーダーチャート】